

《共通基礎科目 教養教育科目》

科目名	防災・災害論				
担当者氏名	津田 省三				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	1年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 教養教育-1 国際社会に貢献できる人材育成				

《授業の概要》

- 1、座学中心、時に意見発表を求める。
- 2、過去の災害を知り、現在の防災対策を把握することによって、実践的な防災知識を習得する。
- 3、国と地域の消防防災体制、救急救護体制などの理解を通じて、教育・保育担当者として必要な防災の知識を身に付ける。
- 4、様々な防災テーマの学習を通じて、安全対策の重要性を知り、防災意識の向上と考える能力を醸成する。

《授業の到達目標》

過去の災害を知り、国と地域の現状の防災体制を把握するとともに、消防計画・防災計画・危険物・救急の知識などを把握して、教育・保育時の安全確保に必要な災害対応能力を習得する。

《成績評価の方法》

平常点(出席、受講態度、積極性)50%、定期試験50%

《テキスト》

授業時にPPの資料を配布する。

《参考図書》

防災白書 消防白書 内閣府や消防庁、国土交通省(気象庁)、大阪府・市等のホームページでの防災・災害等に関する情報

《授業時間外学習》

- ・ 防災に関する意識調査の提出
- ・ 配布資料の整理
- ・ 災害、防災に関するニュースのチェック、収集

《備考(教員経験の有無)》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	災害史①	災害の種類を把握し、世界や日本における災害被害の歴史を知る。
2	災害史②	明治期までの災害被害の歴史を知る。
3	災害史③	大正期以降の災害被害の歴史を知る。
4	地震と津波	海溝型地震と直下型地震及び津波のメカニズムを学ぶ。
5	阪神淡路大震災	阪神淡路大震災の被害と特徴を知り、その後の直下型地震の状況と今後の展開を学ぶ。
6	東日本大震災	東日本大震災の被害を振り返るとともに、南海トラフ地震と津波について学ぶ。
7	地震防災対策	国と地方の地震防災対策や警報システム、避難、帰宅困難者対策などを学ぶ。
8	台風・水害	日本の台風被害と高潮、大雨被害の歴史を学ぶ。
9	風水害対策	台風・大雨災害のメカニズムと知るとともに、国・地方の水害対策について知る。
10	火災	日本の過去の火災被害を知り、火災の発生原因や特徴を学ぶ。
11	火災予防と防火管理	火災の発生と被害をいかに防ぐかを学ぶ。
12	消防計画・防災計画	火災を予防し、災害による被害の軽減を図るためにある消防計画・防災計画を学ぶ。
13	危険物	消防法で規制されている危険物は、日常生活にもその危険が潜んでいることを学ぶ。
14	救急の知識	日本の救急を知るとともに、応急手当の知識技術を身につける必要性を知る。
15	まとめ、筆記試験	講義全体の振り返り、記述式試験。